

IASB スタッフ・ペーパー5 要約

プロジェクト 金融商品：分類及び測定

トピック カバー・ペーパー

ペーパーの目的

このペーパーでは、両ボードの共同の議論に諮る論点に対応する順序の計画を説明。（６項）

議論すべき論点

分類カテゴリー

A	B	C	D
償却原価	FV-OCI ¹	FV-PL	FV-PL
償却原価に関する事業モデルの要件を満たす かつ キャッシュ・フロー特性の評価をクリア	FV-OCI に関する事業モデルの要件を満たす かつ キャッシュ・フロー特性の評価をクリア	FV-PL の事業モデルの要件を満たす、又は、残余のカテゴリー かつ キャッシュ・フロー特性の評価をクリア	キャッシュ・フロー特性の評価をクリアしない（事業モデルに関係なく）

- 契約キャッシュ・フロー特性（９、１０項）
今回の会議で検討。今回の決定は、カテゴリーA～Cに入る金融資産とカテゴリーDに入る金融資産を決定することとなる。
- 事業モデルと FV-OCI 測定カテゴリー（１１、１２項）
今回の会議は、お互いのモデルを理解するためのエデュケーション目的。最終的には、どの金融資産がカテゴリーA、B、Cのいずれに該当するかを決定することになる。
- 金融資産の区分（１３項）
将来の会議において、両ボードに対して、カテゴリーDに入る金融資産を区分することについて検討すべきか、そして、その場合の区分の基礎を質問する予定。

¹ 事業モデルを基礎とする FV-OCI の分類の共同の議論は負債性金融商品にのみ当てはまる（すなわち、キャッシュ・フロー特性の評価をクリアする金融商品）。これは、当初認識時において、資本性投資に関して IFRS 第 9 号の下で利用可能である FV-OCI の指定に影響を与えない。

- 金融負債に関する関連する論点（１４項）
金融資産に関するそれまでの検討が、金融負債の会計処理に及ぼす影響（金融資産と金融負債の分類及び測定の対称性をより高める必要性を含めて）について、両ボードに検討を求める。
- 移行措置、開示、その他の論点（１５項）